

第10回 バチカンより日本へ祈りのレクイエム 2023 記念公演

# 愛と祈りのオペラと

池田理代子

# 生きる喜びの第九

ベートーヴェン

池田理代子脚本、藪田翔一作曲 **世界初演**  
新作オペラ「女王卑弥呼」より

“卑弥呼よ、うるわしきわが巫女よ”  
“わが祖国よ”  
“神聖なるこの身”  
“このスサノオは”  
“アメージング・グレイス”

ダッラ作曲  
“カルーソー”

ベートーヴェン作曲  
「第九交響曲」第一楽章、第四楽章（合唱・バレエ付き）

\*曲目、出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

石井竜一振付による

公益財団法人

井上バレエ団と作り上げる

グランドオペラのフィナーレの  
ような「第九」の世界

2023年4月17日 MON

17:30 開場 / 18:30 開演

東京国際フォーラム  
ホールC

全席指定(税込) **SS¥20,000** (プロジェクト応援特別席・お土産付き)  
**S¥10,000 A¥8,000 B¥6,000**

チケット取扱い

- イープラス <http://eplus.jp>
- チケットぴあ <http://t.pia.jp/> (Pコード:238-162)
- ローソンチケット <http://l-tike.com/> (Lコード:36325)

チケットお問合わせ ホットスタッフ・プロモーション  
TEL:050-5211-6077 (平日12:00~18:00) <https://www.red-hot.ne.jp/>

オフィシャルHP <http://www.inorinorequiem.sakura.ne.jp>  
オフィシャルYouTube Masahiro Shimba



御法川 雄矢 (指揮)



ロイヤルチェンバーオーケストラ



辰巳 真理恵 (ソプラノ)



堤 貴恵 (メゾソプラノ)



榎葉 昌寛 (テノール)



村田 孝高 (バリトン)



佐藤 ひらり  
(シンガーソングライター)



江口 二美  
(ソプラノ)



ミリアム・スカルチェッロ  
(シンガーソングライター)

(合唱) ヒルズ・ロード・コーラス、池田理代子とばらのミュージズたち、  
祈りのレクイエム合唱団 (合唱指導) 大貫浩史  
(ホール内彫刻作品) 眞壁廉 (彫刻家) (司会) 高須沙知子

【主催】 バチカンより日本へ祈りのレクイエム実行委員会

【協力】 LA MONTINA 東急グループ

【協賛】



NTT DATA  
Trusted Global Innovator



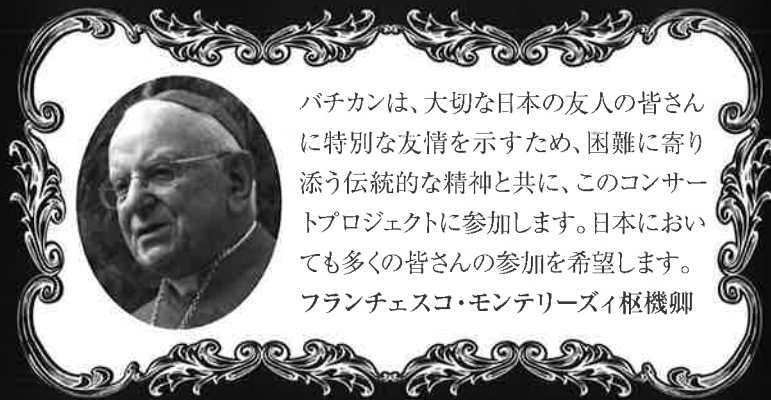
三井化学株式会社

ジャパンソルト株式会社

東映株式会社

三光ソフランホールディングス株式会社

株式会社伊藤園



パチカンは、大切な日本の友人の皆さんに特別な友情を示すため、困難に寄り添う伝統的な精神と共に、このコンサートプロジェクトに参加します。日本においても多くの皆さんの参加を希望します。フランチェスコ・モンテリーズィ枢機卿

## 御法川 雄矢(指揮)



北海道出身。10歳よりヴァイオリンを始め、その後ヴィオラに転向し、桐朋女子高等学校音楽科入学と共に指揮を始め。桐朋学園大学卒業。在学中よりロイヤルチェンバーオーケストラのメンバーとして参加する他、'00年よりバンドネオン奏者小松亮太氏のライブ、レコーディングに参加する。大学4年の若さで真松・浜田バレエ団「くろみ割り人形(全幕)」にて関西フィルハーモニー管弦楽団を指揮しデビュー。'09年NHK交響楽団入団。その後はロイヤルメトロポリタン管弦楽団、静岡交響楽団、札幌交響楽団などを指揮し、名作曲家、富田勲氏から絶大な信頼を受けている。指揮を故堤俊作、ヴァイオリンを市川映子、ヴィオラを故江戸純子、室内楽を故青木十良、各氏に師事する。指揮者として、情熱的な音楽作りと幅広いレパートリーで大変注目されているが、'09年NHK交響楽団に入団し、ヴィオラ奏者としてもヴィルトゥオーソ横濱、小松亮太オルケスタ・ティピカ、エレメンツ・クアルテット、どさんこクラシックスなどで中心的存在として活躍している。カメラータ・ナガノ音楽監督も務める。 <http://www.instagram.com/minoryuyya/>

## ロイヤルチェンバーオーケストラ



1987年に今上天皇徳仁陛下を楽団長として設立された「梓室内管弦楽団」に内外の一流オーケストラで活躍した経験のある音楽家が参加し、1993年陛下のご成婚記念CD制作をきっかけに指揮者、故・堤俊作によって設立された。「ウィーンフィルの奏法」を模範とし、豊かで色彩に富んだ音色による正統的な演奏を理想とし、歴史的解釈を踏まえたヨーロッパの伝統に可能な限り近づく真のオーケストラであることを追求し、精力的に活動している。2005年にはアイルランド、ベルギー、ルクセンブルグ、イタリアの4か国6都市でのヨーロッパツアーを大成功させ、中でもミラノの由緒あるタル・ヴェルメ劇場、ウィチエンツァの世界遺産オリンピコ劇場でのコンサートは、イタリア人の聴衆から大絶賛された。イェルク・デームス、ルチア・アルベルティ、ミッシェ・マイスキー、スタニスラフ・ブーニンなど世界的に活躍する演奏家を招き、そのアンサンブルは聴衆のみならず、演奏家にも絶賛されている。管弦楽はもちろん、オペラ、バレエも得意とし、ヨーロッパの歌劇場管弦楽団のような楽団であるという評価を受けている。



## 池田 理代子(漫画家・声楽家)

東京音楽大学声楽科卒業。1972年「週刊マーガレット」にて連載を始めた「ベルサイユのばら」の大ヒットで、アニメ化、映画化、舞台化され、世界中で劇画家として知られる。そのほかには「オルフェウスの恋」、「栄光のナポレオン・エロイカ」など傑作を生みだし、それらは世界で愛読されている。45歳の時に幼いころからの夢だった歌手の道に進むことを決意し、東京音楽大学に入学、世界的ソプラノ、東敦子のもとで研鑽を積んだ。歌手としての活躍も華々しく、「第6回パチカンより日本へ祈りのレクイエム」聖マリア・マッジョレ大聖堂公演にも出演した。フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュバリエ章を授与。



## 藪田 翔一(作曲家)

2011年東京音楽大学大学院作曲科修了。第70回ジュネーブ国際音楽コンクール作曲部門優勝。ウィーンコンチェルトハウス100周年作曲賞最優秀作品賞。文化庁長官表彰(国際芸術部門)第26回出光音楽賞。2018年には小倉百人一首100首を歌曲として作曲し、全音楽出版社より歌曲集「小倉百人一首」が出版される。2019年にはNHK交響楽団、いずみシンフォニエッタ大阪等からの委嘱作品が初演され、今最も注目されている作曲家の一人である。



## 辰巳 真理恵(ソプラノ)

東京音楽大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラ研修所修了後イタリアへ留学。東京二期会オペラ「フィガロの結婚」(こうもり、「メリー・ウイダー」など)に出演、「愛の妙薬」アディーナは当たり役となる。'18年アルバム「Ba,Be,Bi,Bo,Bu」でメジャーデビュー。八王子FM「辰巳真理恵のBa,Be,Bi,Bo,Bu」ではパーソナリティを務め好評。'21年12月ヤクーツク国際コンクールでグランプリ受賞。昨年は映画「シグナチャー」の主題歌「大地のしずく」を歌いニース国際映画祭 主題歌賞にノミネートされる。二期会会員。7月に「ジャン・スキッキ」ヒロイン・ラウレッタ役、10月に辰巳真理恵ソプラノリサイタルVol.5を開催予定。



## 堤 貴恵(メゾソプラノ)

東京都出身。18歳より音楽を学ぶ。東京音楽大学声楽科卒業。桐朋学園短期芸術大学科目等履修生。東京音楽大学オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役、トリノ王立歌劇場来日公演オペラ「ラ・ボエーム」、小澤征二音楽塾オペラプロジェクトXIオペラ「蝶々夫人」、2013年サイトウキネン・フェスティバルでオペラ「こどもと魔法」(小澤征二指揮)などに出演。音楽を成田絵智子、経種彦彦、舞台学を滝川幸雄、鴻上尚史に師事。



## 榛葉 昌寛(テノール)

東京藝術大学卒業後、国際ロータリー財団奨学生として国立ミラノ・ヴェルディ音楽院にて学ぶ。テラモ市立劇場での「椿姫」アルフレード役にデビューし、その後オペラ、コンサート活動はイタリアのみならずヨーロッパ、アメリカ、カナダなど華々しい。'13年より毎年「パチカンより日本へ祈りのレクイエム」を総合プロデュースし、東北音楽復興支援をしている。'13年天皇賞(秋)、「15年プロ野球日本シリーズ初戦」、「18年日本シリーズと2度の国歌独唱は大絶賛された。掛川市・ペーザロ市の姉妹都市提携にも尽力し、輝け掛川応援大使にも任命されている。 <http://www.masahiroshimba.com>



## 村田 孝高(バリトン)

国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラスタジオマスターコース第46期修了。藤原歌劇団正会員。'01年イタリア声楽コンクール・シエナ部門入選。日本、イタリア、スロベニア、スペイン、フランスなどで、オペラやコンサートに活躍中。日本では数少ない演技派のバリトンとして評価が高い。サントリーホールにおける小林研一郎氏指揮「第九」をはじめ、ロッシェニ歌劇場とパチカンでのモーツァルト「レクイエム」、ロッシェニ「荘厳ミサ曲」、「17年ロッシェニ歌劇場管弦楽団来日公演のすべてで、ソリストを務める。'21年、フィンランドでの初演オペラ「眠る男」でタイトルロールを演じた。 <http://baramyu-manatsu.sblo.jp/>



## 佐藤 ひらり(シンガーソングライター)

5歳の時に美空ひばりさんの「川の流れるように」に出逢い音楽に目覚める。9歳の時に第7回ゴールドコンサート(身体障害者の音楽支援コンサート)にて「アメイジング・グレイス」を熱唱し史上最年少にて、歌唱・演奏賞、観客賞を受賞。東日本大震災のあとにはじめての自作曲「みらい」をつくり、CDの売り上げ100万円をあしなが育英会を通じ震災遺児あてに寄附。12歳の時に米国のアポロシアターアマチュアナイトでウィークリーチャンピオン獲得。第34回国民文化祭にて天皇皇后両陛下の御前で国歌歌唱。東京2020パラリンピック開会式にて国歌独唱。



## 江口 二美(ソプラノ)

愛知県立芸術大学卒、同大学院修了、中村桃子賞受賞。イタリア・ミラノに留学。第5回ミリアム・ヘリン国際声楽コンクールに日本から唯一選出。第5回ルーマニア国際音楽コンクール3位。オペラでは椿姫、蝶々夫人、カルメン等数多くに主演、40役を超えるヒロインレパートリーがある。文化庁巡回公演「かがみ」(池辺晋一郎作曲)では武田カヨ役を8年連続で務めている。名古屋フィル、アンサンブル金沢、群馬交響楽団等オーケストラとの共演も多い。名古屋二期会、東京二期会を経てサンミュージック福岡所属。柏江FM「ME音(めと)」のオペラバラ「パーソナリティ」(第2・第4金曜日21時から生放送)。



## ミリアム・スカルチェッロ(シンガーソングライター)

イタリア、レッチョ・カラブリア国立音楽院を卒業し、教鞭も取った。Raiイタリア国営放送によって生中継された第一回美声コンクールに優勝し、Raiイタリア国営放送の音楽番組など多数出演する。レッチョ・カラブリア、アマルフィ、ナポリ、シチリア、ローマなどで行われる多くのフェスティバルには、欠かすことのできない存在となっている。彼女の語りと歌と音楽は、南イタリア人が決して忘れることのできない南イタリアの土壌の香りと故郷の味を感じさせる、唯一のシンガーソングライターといえる。